



与謝野町 議会だより

第76号

2025年

5月9日発行



四辻浄水場



上山田第二浄水場



手を洗う園児
(つばきこども園)



男山浄水場



加悦浄水場

~特集~
水道料金19.9%の引上げ

主な記事

- ◎水道事業・料金引上げ … 2P
- ◎一般会計令和7年度予算 … 4P
- ◎一般質問 ……………… 10P
- ◎議会懇談会意見要望の回答 … 17P

水道料金の引上げの 賛成・反対

●引上げ必要

水道事業は独立採算が原則で、事業に必要な資金を水道料金で賄うべき。現在の料金では約72%しか賄えていない。事業を安心して安定的に継続するためには、引上げは必要だ。

大規模災害の時に、一般会計に頼ることなく直ちに対処するためには、現金預金を4億円維持していることが必要。毎年約7千3百万円の現金預金が減っており、平均20%の引上げは必要だ。一般会計はいつでも余裕があるとはいえない。

低所得者には、下水道事業で行っている「福祉減免制度」を導入し、負担を大きくしない努力も行う。

審議会の議論でも、3回行った住民との懇談会でも、多くは仕方がないとの意見であった。議会可決後に、丁寧な説明を行い、理解を得ていく。

…《町民の声》…

薮後 60代（男性）

19.9%引上げても、本来必要な額から8千万円足らない。今回の値上げも含めて、あるべき料金に近づけるべき。

明石 40代（女性）

親が支払っているのでわからないが、値上げは嫌だ。しかし、どうせ嫌だと言っても上がるんでしょ。

三河内 40代（女性）

足りない分がみんなの税金から支払われているなら、子育て世帯としては水道を多く使うので助かるが、値上げと言われると嫌に決まっている。

浜町 60代（男性）

物価高騰で、水道料金の値上げは生活に影響する。大変困るけど、仕方ない。

●引上げ不要

法律でも、特別な事情については、一般会計からの補助金支出を認めている。料金が高くなるを得ない与謝野町の状況から、一般会計のあり方を見直し、料金を抑えるための補助金を水道事業会計へ支出することで料金改定を避けるべき。

災害時の復旧は、一般会計で行うのが当然のこと。その費用を水道料金に負担させれば、高くて安心して水道を使えなくなる。

物価高騰などで、町民の暮らしが大変な時、水道料金の引下げこそ行うべき。下水道料金の福祉減免は、対象が想定500件で実際には、151件が総額21万円を受けているのみ。対象者も額も全く不十分。低所得者全員など、もっと拡充させるべき。

全町民に大きな影響を与える水道料金の引上げこそ、「住民説明会」で住民の理解を得てから議会に提案すべきだ。

平均19.9%

水道料金の引上げを可決

●上下水道審議会の答申（要旨）

「独立採算の原則」「受益者負担の原則」を基本に運営しており、現金預金が平成29年度決算では約11億円から令和5年度には6億3千万円に減少した。令和13年度には底をつく見通しとなった。

また、大規模災害発生後の半年間の運転資金3億4千万円と応急復旧費用1億円を維持することが適当であり、最低4億円の現金預金を維持すること。そのためには、平均20%の料金引上げが必要であること。また、料金体系の見直し、基本水量の廃止も行うことを確認した。

下水道会計も経営改善は急務であるが、令和5年に13.1%の引上げをしたばかりであり、生活環境の改善や河川、阿蘇海などの公共水域の水質・環境改善に、一般会計から一定額を負担することは合理的な面もある。今後の推移や分析をまって見直すべきで、今回は引上げをしない結論に至った。

●答申の付帯意見（要旨）

1 生活困窮者への対応について

下水道使用料の福祉減免制度を水道料金にも拡充し、生活困窮者への対策を強く望む。

2 住民への周知について

住民に丁寧な説明を行い、料金改定に理解を得ること。制度の改正で負担が大きく変わる使用者への周知期間を確保すること。

3 外部委託について

民間委託などで、経営の効率化と組織の強化に努めること。近隣事業者と連携して、費用削減効果が見込めるることは、積極的に取り入れること。

4 一般会計繰入金について

交付税算入の対象額は、全額水道会計に繰り入れ、高額な料金とならざるを得ない、当町の上下水道使用者の負担軽減を図ること。

5 下水道事業にかかる経費削減について

宮津湾流域下水道事業への京都府の支援を、引き続き要望すること。

6 持続可能な上下水道課の体制づくりについて

専門性の高い人材の確保と、人材育成や技術の継承に努めること。

●水道事業の現状と今後（令和5年度決算時の状況）

- 水道会計の経費額 約6億6千万円。
- 水道料金でもって本来集めるべき額は、経費額から長期前受金（減価償却に充てた補助金分）を除いた約5億5千万円。
- 現在の水道料金の収入額は、約4億円。したがって、約72%しか水道料金での収入が確保できていない状況。
- 借金の年返済額は、約3億7千万円。そのうち、国の交付税算入で計算された一般会計からの繰入額が、約1億6千万円余りあり、水道事業会計の返済額が約2億1千万円。
- 現金預金額の残高は約6億3千万円だが、毎年減少し令和13年度にはゼロとなる見通し。
- また今後、耐震化等の改修費用が12年間で15億円必要。

ふるさと納税のあり方

宮崎有平

反対討論

のむら しょうはち
野村 生八（日本共産党与謝野町議員団）

町民支援の予算になっていない

物価高で町民の生活は大変な状況だ。国保税や水道料金の引上げなどで町民の負担が増える。国の交付金は、一部にしか届かないプレミアム商品券に全て使う。水道料金の引下げなど、町民全体への支援がない予算。

こども園整備、与謝野駅の改修、水道料金引上げなど、議会が可決してから町民への説明を行うというが、これでは住民本位の町政ではない。

今の大型事業の次には、学校の建設、その次に庁舎建設のための検討を始めるという。いつまでも多額の借金返済が続き、基金が枯渇するという財政危機に向かっていく予算。

反対討論

いえき いさお
家城 功

この説明では

予算審議においての質疑に対する行政の答弁や説明については、事業や取組の概要、基本的な考え方を説明するのではなく、なぜ、誰が、どうやって、何のために、何を求めるためなど、事業や取組の中身が議員や町民に「みえる」ことが重要であり、更に協力の得ることのできる説明をすることが大切である。今回の質疑を通して、行政の考え方に対し、私自身が理解できる答弁や説明を得ることができなかつたと判断し、本案に対して反対の判断をした。

「令和7年度与謝野町一般会計予算」に対する付帯決議

議案第34号の令和7年度与謝野町一般会計予算において、各事業が計画されているが、委員会説明や議会審議において、十分な理解ができない状況であると感じている。

また、厳しい財政状況下における中での町政運営にあたり、国・府の交付金や補助金などを有効に活用した工夫がみられる事業もあるものの、一方では、事業計画や将来像を明確に示し、議会にも町民にもわかりやすく納得のいく遂行が必要であると感じる分野も少なくはないと感じている。

町長が掲げる、「みんな・みらい・みえる」の3つの「み」のまちづくりの実現、そして、厳しい行財政状況下の健全化に向けて、より多くの町民を巻き込んだ、誰もが理解できる、そして協力できる「仕組み」づくりは、与謝野町の町政運営において必要不可欠である。

記

- 各事業の実施においては、本会議や委員会での各議員からの指摘や提案事項が十分に検討されたと思えない。議会の意見に誠実に対応し、町民に有益な成果として目に見える形となるような取組を図ること。
- 町内唯一の駅であり、全町民が応援したくなるような地域づくり計画と駅舎改修となるよう計画策定と事業実施体制の範囲を広げ、夢と希望あるものにすること。
- 財政運営や公共施設管理については、現行の計画の見直しや改善など将来見通しをしっかりと定め、財政健全化と将来負担の軽減化を図るために協議を進めること。
- 今後においても、「町民のためのまちづくり」を常に念頭におき、最善の努力に努めること。



リフレカヤの里

リフレカヤの里 再開を

杉上忠義

食と健康の拠点施設条例の廃止

全員賛成で可決

問 25年度中に民間業者による再開を目指すと新聞報道されたが。農・福・商の理念を大事にしたい。農環課長 地域おこし協力隊で空き家活用促進活動をして頂く。

町長 事業者の決定が先決。その上で、周辺地域、施設との連携強化を計っていきたい。

からも拡充していく。

総務課長 参集訓練は地域防災会議で、隣組単位で否の確認や避難の手伝いの話し合いをお願いしている。訓練の内容は、パンフレットを配布しているが、情報を知る機会については協議する。

問 令和7年度の防災訓練の内容は何か。

問 参集訓練に防災の知識を得る工夫が必要と思うが。

反対討論

いえき いさお
家城 功

この説明では

予算審議においての質疑に対する行政の答弁や説明については、事業や取組の概要、基本的な考え方を説明するのではなく、なぜ、誰が、どうやって、何のために、何を求めるためなど、事業や取組の中身が議員や町民に「みえる」ことが重要であり、更に協力の得ることのできる説明をすることが大切である。今回の質疑を通して、行政の考え方に対し、私自身が理解できる答弁や説明を得ることができなかつたと判断し、本案に対して反対の判断をした。

問 総合計画に基づく実施計画とは何か。

企財課長 今後3年間の事業計画を記載して、毎年更新している。

問 駅舎の改修、奥山川の改修など、予定している

企財課長 今年度の予算

の改修など、予定してい

企財課長 今年度の予算

問 児童は朝早く起きて約40分かけて登校している。なぜ下校時だけの取組みなのか。

教育長 町及び教育委員会は、児童の命・安心安全を守ることを第一の責務とし、この観点から町長の施政方針で述べたように、次年度より熱中症のリスクが高い夏季期間に限定し、通学距離が2kmを超える児童への、下校時のマイクロバス等による対応ができるよう検討している。



登校風景

問 近年の異常気象により登下校時の気温も年々上昇し、児童の健康面において心配する声が多く聞くなか、昨年は熱中症の症状を訴える児童もいた。安心安全という点でまだ不十分で、検討の余地があると考える。

教育長 安心安全を守ることが責務であると考える。下校時のバス対応がゴールではなく、今後何ができるのか絶えず検討していくことが務めだと考えている。

たかおかのぶあき
高岡伸明 議員

問 2022年より当町は、土日、外部の指導者が部活動を実施している。しかし、教員に替わり指導を実施している状況ではない。

教育長 部活動指導員・ボランティアとして平日や休日に指導をしていただいている。

問 学校の教員と外部指導者との連携はどのようにかかわっていくのか。

教育長 外部指導者が入ることにより、教員が交替で部活動の指導から外れることが負担軽減につながる。

やまざきまさふみ
山崎政史 議員

Q バス下校がゴールではない A 絶えず検討していく

教育長 朝の段階ではまだ気温は低い。熱中症リスクを避けるという観点から、下校時のみと判断した。

問 夏季のバス下校の取組がゴールだと考えるのではなく、今後も児童・保護者が安心して学べる環境づくりのための議論・検討を。

教育長 安心安全を守ることが責務であると考える。下校時のバス対応がゴールではなく、今後何ができるのか絶えず検討していくことが務めだと考えている。



一般質問 町政の在り方を問う

一般質問は、定例会ごとに行われます。町政全般にわたり、執行機関に対して、予算の執行状況や町政の将来に対する方針などについて、説明を求め、疑義を質すものです。質問を受ける執行機関に十分な準備が必要なため事前通告制となっております。

みやおしよしき
三田義幸 議員

Q 町の外部指導者による実施状況は A 令和7年2学期から試行開始する

教育長 学校を主体としながら外部の指導者に協力いただきながら部活動を保障していく。「地域連携」という目指す方向性を説明・理解していただき上で試行開始としたい。保護者の方には、説明会を実施し「地域連携の方向性」について説明している。

教育長 体力面も含め総合的に検討を行ながっており、令和7年度2学期から試行開始時期として進めている。

たかおかのぶあき
高岡伸明 議員

問 来年4月には町長と議員の選挙が行われる。

町長 定例会一般質問で私は、期日前投票の際での理由をチェックする欄は不要だと述べた中で、前回の議員選挙では白票・無効票が447票あり、この票数だけで当選できると指摘した。それ以外には関連で郵便投票制度や代筆投票にも言及したが、町長から有権者への説明や呼びかけを要望する。

郵便等による不在者投票については、身体障害者手帳か戦傷病者手帳を保持した上で制度で決められた傷害の

問 昨年、大阪府四条畷市で行われた電子投票選挙に対する認識を問う。

町長 白票・無効票が從前と比較して飛躍的に減り、私も注視していく。

選挙管理委員会が決定。

令和4年町会議員選挙投票結果	
有権者数	17,549
投票者総数	11,113
投票率	63.33%
有効投票数	10,636
無効投票数	477
投票総数	11,113

棄権や無効票を減らす努力を

Q 白票・無効票ゼロと郵便・代理投票 A 極力無効票を減らすべく、引き続き取り組む

程度に該当する方、もしくは介護保険の被保険者証で要介護5と認定された方が対象。

代理投票については、上肢が不自由等により自筆で投票用紙に記入することが困難な方に対し、投票事務従事者が補助者として2名が側に付き、口頭や指差しなどで本人の意思を確認し代筆、投票を行うことができる制度。

Q 当町のSDGsの現況は

A 総合計画の7分野・26施策で取り組む

ふじた しろう
藤田史郎 議員

広報していく。

問 小中学校の生徒達に対するSDGs意識付けや学習は。

教育長 現行の学習指導要領には「持続可能」というSDGsのキーワードが多く使われている。

社会科・家庭科などの学習のなかで取り組んでいる。

問 SDGsでの教育の平等と学ぶ権利から、いじめ・不登校の対応は。

教育長 「いじめ防止対策委員会」が設置されており、いじめの重大事態であると判断した時は、第三者委員会として調査・対応をする。

問 SDGsの取組に各課は協議・共存されているのか。

町長 年3回理事者と各課係長以上の職員で構成する「重点施策調整会議」で、総合計画に掲げる主要事業を協議・を行い対応している。

問 SDGsの取組に各課係長以上の職員で構成する「重点施策調整会議」で、総合計画に掲げる主要事業を協議・を行い対応している。

問 行政としてのSDGsの取組は。自然環境・地域協働のまちづくりなど、令和5年度に2室の機構改革を行っており、SDGsの取組を共有している。

問 SDGsの意味と内容について、特集「あなたにもできるSDGsの取組」と題し、具体例を示した広報を配布すべきである。

町長 町民は生ごみ・雑紙処理・資源ゴミの分別など、SDGsの取組をされている。引き続き皆様の活動を町で

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

マーク

Q 中学統合は懇談会を開催することは当然のこと

A 意見を聞く場を設けることは当然のこと

ながしま ひろみ
永島洋視 議員

懇談会開催を約束せよ。

問 意見を聞く場を設けることは当然のこと。

教育長 一旦白紙に戻し議論するべき。

教育長 基本方針は、絶対のものではない。

物価高騰交付金は水道に

問 物価高騰対策として、国から8千円が交付。町は商品券事業に予算化。商品券は全町民に恩恵がない。物価高騰は全町民に影響。値上げの水道代に補助することこそ、全町民に恩恵が行き渡る。

問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討する資料とするもの。

教育長 今後の進め方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。



加悦中学校

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は変わっていない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

のむら しょうはち
野村生八 議員

自治体情報システム

問 国が法律により、全国の自治体の基幹業務を標準化・統一化を強制している。デジタル化で「行政の効率化が進む」経費も3割なくなると言つてきた。しかし試算では、移行前よりも経費が減るどころか3倍になる自治体もあると言われている。

当町のデジタル化では、どうなるのか。当町の自治体DXのメニューの中には、ワンストップサービスに取り組むとある。

町長 自宅で申請ができるよう取り組んでいく。

町長 自宅でパソコンをできない人もいる。どの庁舎でも、すべての相談・申請ができるようになります。

町長 そのような総合窓口をめざしていく。



町情報システムのサーバー（町提供）

Q 全ての相談・申請を一力所、一回で

A ワンストップサービス・窓口をめざす

いえき いさお
家城功 議員

Q 予算は「みえる」説明が必要不可欠

A 町民にも「みえる」形での説明をする

町長 議会や町民に対し説明責任を果たすことは大切であり実感している。

問 行政運営においては反省や教訓を活かし、改善をしながら進めることが必要と考えるが。

町長 そのことは必要であると感じている。

問 予算審議では一つひとつの事業に對し「みえる」形での説明がしっかりとしていただけるのか。

町長 議員との議論を通じ、しっかりと「みえる」形での説明がしっかりとしていただけるのか。

町長 議員との議論を通じ、しっかりと「みえる」形での説明がしっかりとしていただけるのか。

町長 議員との議論を通じ、しっかりと「みえる」形での説明がしっかりとしていただけるのか。



千年椿 (滝)

ふじた しろう
藤田史郎 議員

広報していく。

問 小中学校の生徒達に対するSDGs意識付けや学習は。

教育長 現行の学習指導要領には「持続可能」というSDGsのキーワードが多く使われている。

社会科・家庭科などの学習のなかで取り組んでいる。

問 SDGsでの教育の平等と学ぶ権利から、いじめ・不登校の対応は。

教育長 「いじめ防止対策委員会」が設置されており、いじめの重大事態であると判断した時は、第三者委員会として調査・対応をする。

問 SDGsの取組に各課係長以上の職員で構成する「重点施策調整会議」で、総合計画に掲げる主要事業を協議・を行い対応している。

問 行政としてのSDGsの取組は。自然環境・地域協働のまちづくりなど、令和5年度に2室の機構改革を行っており、SDGsの取組を共有している。

問 SDGsの意味と内容について、特集「あなたにもできるSDGsの取組」と題し、具体例を示した広報を配布すべきである。

町長 町民は生ごみ・雑紙処理・資源ゴミの分別など、SDGsの取組をされている。引き続き皆様の活動を町で

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

教育長 5件全て反対の意見であった。問 これで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。それで住民意見を聞いたというふうに聞かれた。

教育長 今後の進め方を検討していっている。

教育長 基本的考え方は具体的になつてない。現段階では進め方は具体的になつてない。

教育長 舞鶴市も学校再編を検討している。統廃合ありきではダメ。地域事情も取り入れた判断が必要と大学教授が指摘したと報道。地域住民との懇談会予算を計上ある。与謝野町は、住民に説明相談もせざ方針決定した。

問 加悦・江陽中統合を内容とする、改訂版の意見募集を実施。結果は。

Q

A 町管理は76台で、必要な場合利用に問題ない

あだち たねお
安達種雄 議員

検して速やかにAEDの表示板を掲示する。

現在設置の機器は旧町時代の設置か。耐用年数や、救急救命講習の計画は。

町長 AED本体は8年ごとに順次更新している。バッテリーパックは4年ごと、電極パッドは2年半ごとに交換している。

令和5年宮津与謝消防組合での講習会は与謝野町で28回、534名が受講している。消防組合と連携し、救急救命講習を多くの方に受講していただけるよう引き続き努力する。

問 突然の心肺停止を起こした傷病者の命を救うためのAED(自動体外式除細動器)は、誰もが日常使うためのものでない。ただ、何時どこで何が起るか分からぬため、使用方法を学ぶことは、人の命を救うことになる。町内の体育施設、公民館など何ヵ所に設置してあるのか。

町長 3庁舎、小中学校、保育施設、体育施設、公民館などに計76台を設置。

問 町内多くの施設に設置だが、その施設にAEDの表示板が見受けられない施設が多い。施設の利用者や町民の目に留めることが大切ではないか。

町長 以前は設置時に張り紙をして告知していたが、経年劣化による、色あせや、剥がれがあり、全ての箇所を点



AEDの管理を

Q 人口減少に耐える地域社会づくり

すぎがみただよし
杉上忠義 議員

ための公共交通のあり方を考えている。

問 舞鶴市の「カスタマー・ハラスメント」対策は、職員の人権を尊重するため、2月1日から実施されている。ガイドラインは、厚生労働省のガイドラインを参考している。本町も対策が急がれるが。

町長 1市4町法定合併協議会が設置された時点(2002年)では、5万人の都市づくりを目指す協議が始まつた。現実は厳しい事態となっている。多くの地方自治体は、関係人口増加、移住・定住促進に「U字」の底の部分で競争して取り組んでいる。本町の施策を問う。

問 個性を活かして安心して働けるまちにしていく。具体的には、京都府の「子育て環境日本一推進戦略」と連携強化していく。

町長 人口減少が大きな要因として金融再編、農協の統合、食品スーパーの閉店など住民生活に及ぼす影響が生じているが。

町長 住民・高齢者の移動手段確保のための公共交通のあり方を考えている。



子育て支援の充実

Q 地元を誇りに想い人の流れを生む町づくり

Q ハラスメントは不法行為だ

A ハラスメント防止対策の研修を実施している

みやざきゆうへい
宮崎有平 議員

問 パワーハラスメントの判断基準をどのように考えるか。

町長 ①優越的な関係を背景とした言動であって、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されること、の三つすべての要素を満たすものが該当する。

問 ハラスメント被害に対する調査が必要と思うが、全職員を対象にしたアンケート調査を実施する考えは。

町長 令和2年から現在までハラスメントの相談件数は2件、職場環境のなかで潜在的なハラスメントがあることは考えられるので、アンケート調査をすることは重要である。

問 カスタマー・ハラスメントも大変重要な問題であり、職員を守る対策は。

Q 認知症に関する取組みは

A 認知症サポーターエネルギー養成講座を実施

かわい しんたろう
河邊新太郎 議員

問 認知症の人々が安心して暮らせる地域づくりには、どんな取組が重要か。

町長 認知症になつても自分らしく幸せに暮らせるまちづくりが大切と考える。

問 認知症に関する取組は。

町長 小中学生や地域の方々の集まり、様々な事業所などを対象に認知症について知つてもらう、認知症サポーター養成講座を実施している。

町長 ユマニチユードについては、町として具体的に普及状況などの調査を行っていない。

エアコン設置について

認知症ピアサポート

問 認知症ピアサポート環境の具体的な整備内容について問う。

町長 北部医療センターや丹後保健所管内市町などが広域で開催する本人ミーティングや認知症の人と家族の会京都府支部への紹介などの取組をしている。

教育長 野田川地域の小学校統合や加悦・江陽中学校統合の計画に合わせて検討していく。



物忘れ

令和6年度議会懇談会

質問 古墳公園の横に古民家がある。萱葺き屋根で朽ち果てているが、文化財であるから解体できないと聞いている。必要な施設なら修繕してほしい。

回答 与謝野町指定文化財「いおりの館」は、移築後32年が経過し、萱葺き屋根が当初の半分くらいに痩せてしまっています。

町指定文化財のため、除却廃棄はできません。平成30年に専門業者による現状調査を実施し、屋根の全葺き替えが必要な状態という指摘を受けました。工事費は3千万円程度が必要になると想定しており、適用できる補助金もなく財源の確保に目途が立たない状態です。

質問 空き家について、行政も不動産業者と連携して空家対策をしていただきたい。

回答 本町では、移住・定住施策の一つとして、空き家バンク協力仲介業者（町内宅地建物取引業者）と連携した空き家バンク制度を運用するとともに、情報共有のための空き家バンク協力仲介業者懇談会を開催し、空き家の流動化を進めています。

質問 敬老会について、地域に丸投げでなくして行政も一緒になってやるべき。独り立ちできるまで行政がしっかりとサポートしていただきたい。

回答 敬老会は参加率の減少傾向が続いている、新型コロナウイルス感染症後の令和4年度の参加率は1.8%となりました。

敬老事業対象者へのアンケート、老人クラブよりの意見聴取などを続けて、その結果から検討をし、町全体での開催は対象者の思いに合っていないと判断し、令和5年度からは、町からの米寿、100歳以上のお祝いに加え、喜寿の方へもお祝い品をお贈りしています。

もう一方で、より身近な地域での集まりの場としての敬老会を要望される意見が多かつたことから、高齢者が参加しやすい小さな単

質問 総合庁舎になるまでは、住民の庁舎のたらい回しにならないように、ITの活用などで、どの庁舎でも対応できる仕組みを作り対応していただきたい。

回答 今年度与謝野町行政DX推進計画を策定しているところであります、窓口業務の効率化、利便性の向上などについて検討を進め、業務改善につなげていきたいと考えております。



位（地区や地域）で開催していただけるよう、地区区長会への事業案内、老人クラブ連合会との懇談等を経て、自治会（地区）と協議しながら実施していただいており、令和5年度は3地区で開催、令和6年度は5地区で開催していただいている。

区長さんとは丁寧な協議、町として出来るサポート、関係者との橋渡しなど努めています。

まだ開催されていない地区においても、協議検討を重ねていただいており、今後も「協働のまちづくり」の取組みとしても地域の多くの団体や住民の方々の支え合いにより地域で開催される敬老事業を推進していきたいと考えています。

令和6年度議会懇談会

〈町への要望事項〉

質問 クアハウス無料券を住民に配布していただきたい。

回答 無料入浴券につきましては、すでに広報よさの（10月号）の紙面を活用し、各家庭に配布させていただきました。

質問 牡蠣殻回収ボランティアには、クアハウス入浴料を無料にしていただきたい。

回答 農林環境課と調整し善処します。



質問 ごみ処理施設（宮津与謝クリーンセンター）は、石田地区も影響が出る場所であるので、石田地区にもダイオキシン測定器（公害監視モニター）を設置していただきたい。

回答 施設運営システムに改良を加える必要があるなど、多額の経費の支出を伴うことから、新たな公害監視モニター設置は対応できないと考えています。

なお、宮津与謝環境組合のホームページにおいて、公害監視モニター数値を掲載していますので、運転状況をご確認いただきたいと存じます。

質問 見られない人も多くいるので、議会の再放送をもっと流していただきたい。

回答 再放送は、放送日に2回、翌日に3回の放送を基本としています。他の番組の放送枠との兼ね合いもあり、現状以上の再放送は難しい状況です。

質問 災害が発生した時に、防災品簡易トイレを公民館に配置をしていただきたい。またトイレ凝固剤も確保していただきたい。

回答 現在、町では45基を保有しており、一定の整備は完了している状況です。拠点となる避難所への配備を優先し、現時点におきましては、簡易トイレを各公民館に常備することは考えておりません。

また、トイレ凝固剤（携帯トイレ）も4,800個確保している状況ですが、現時点におきましては、各公民館に常備することは考えておりません。

質問 防災訓練は、要介護者の避難訓練等に役立つものにしていただきたい。

回答 今年度は、各区のご協力により、事前に家族構成や要支援者情報を記載した「隣組防災会議確認資料」の修正等をお世話になり、訓練当日にご活用いただくなど、地域全体での防災意識の高まりについて、ご尽力を賜りました。訓練内容につきましても、様々なご意見を頂戴しており、調査・研究を重ねて、少しでも実のある訓練になるよう努力してまいりたいと思います。

地域を元気にする取組 !!



- みんなの居場所
月～金・第3土曜日 10時～18時
- 赤ちゃんと保護者の居場所
火曜日9時半～11時半午後は予約制
- こども食堂
月曜日 16時～18時
こども無料 大人300円～
- キッズステーション
月・水曜日 15時～17時

Satoyamaにこちゃん

昨日4月に加悦奥にオープン。赤ちゃんから高齢の方までの居場所として、多くの人が賑わっています。おいしいおやつと飲み物で一息つけるみんなの居場所カフェ、赤ちゃんと保護者の安らぎの居場所、こども食堂、キッズステーションをしておられます。

子どもに関わる仕事経験者4人の奇跡的な出会いから、この活動が始まりました。「運営できていることが不思議」と笑いながら話す言葉には、充実感があふれています。みんながリラックスでき、心が豊かに、共に幸せを感じられるといいなと。将来ここで働きたい、こんな仕事がしたいと言う子どももあるそうです。生きることが楽しいと思え、生き方に影響を与える魅力ある居場所であると感じました。この活動が継続できるよう、応援していきたいです。

NPO法人岩屋熱気球

NPO岩屋熱気球は、平成28年10月に岩屋地区の人達が今後も「暮らしていきやすいと感じられる」地域を目指し活動を開始しました。
岩屋に住む人たちが、共に助け合い、支え合う事業の推進・運営を行っています。

(岩屋朝市)

地元農家の野菜や手作りこんにゃく、お餅などを販売しています。また、オープンカフェも併せて開設し、品物の販売のみではなく地域の方が集まれる出会いと交流の場として毎月第3日曜日に開設しています。3月で102回目の開催になりました。

(いこおかー)

買い物に行くことに不便を感じている方と、連れて行ってもいいという方を結びつける「ボランティア輸送」の事業を行っています。与謝野町内のスーパー・ドラッグストアに行くことができます。

(花まちプロジェクト)

空いた田畠を利用し、ラベンダーの栽培を行っています。収穫したラベンダーを加工、販売し収益につながる事業を目指しています。

参加者にポイントを付与し商品券等と交換したり、「さつまいもの栽培」を通じて高齢者施設の方々と交流する事業も行っています。



岩屋熱気球